

R.4.8.31 津山市立みどりの丘保育所  
2歳児 富田・高橋・安東

## 「だんだんとけてきたよ！！」

育っている姿～好奇心、発見を共有する喜び、言葉や仕草での伝え合い～



〇~~~~育っている姿

この夏は暑い日も多く、水遊びがとても気持ち良くできました。水の感触を楽しんでいた子ども達は、氷遊びにも興味をもち、子ども達と水を容器に入れて冷凍庫に入れました。次の日、容器を持って来ると「どうなっているかな？」とわくわく・どきどきの子ども達。見てみると「こおってる～！」とすぐに触って感触を確かめていました。「つめたいね」「つるつるする～！」とそれぞれが氷の感触に気付き、保育者や友達に指を差して知らせたり言葉で伝えたりしました。氷が溶けてくると「あっ、だんだんとけてきたよ」「おみずができた！」と氷から水への変化に興味津々でした。容器から氷を出して見たり、「せんせい、さわってみて！」「おみずにいれてみよう！」と保育者にも声を掛け一緒に触ったり、水に入れて溶ける様子をじっと見たりしている子どももいました。水に入れるとあっという間に溶けていき、子ども達は「もうなくなった」「なんで～？」と驚きと不思議な気持ちで見えていました。

氷遊びを通して、子ども達が氷の感触を確かめたり、「どうなるかな？」と自分で試したりしようとする姿が見られました。また、自分の気づきを保育者や友達に言葉で伝え、一緒に触れてみるなど、気づきを一緒に喜んでいました。